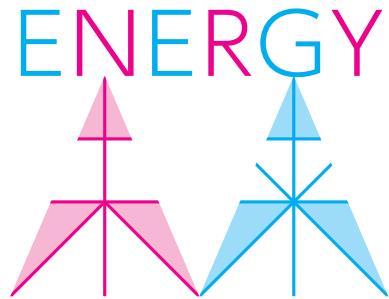




森 望  
MORI Nozomu

関西電力取締役代表執行役社長  
関経連副会長

## 関西地域の 輝かしい未来に向けて



このたび、関経連の副会長を拝命いたしました。微力ではありますが、諸先輩の皆さんにご指導をたまわりながら、関西経済のさらなる発展のために、力を尽くしてまいりたいと考えています。

当社グループは、1951年の創業以来、エネルギー事業を中心に、情報通信や生活・ビジネスソリューションなど、暮らしや経済、産業を支えるさまざまな事業を展開してまいりました。

昨今、国際情勢を受けたエネルギー市場の不安定化に加え、脱炭素化の潮流、デジタル技術の一層の進展等により当社を取り巻く事業環境は変化し続けています。

こうしたなか、当社グループは、エネルギーの安全・安定供給の責務を全うしながら、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、新たな価値・サービスの創出にも果敢に挑むことで、お客様や社会のお役に立ち続けていきたいと考えています。

今回、地球環境・エネルギー委員会担当を拝命いたしましたが、これからエネルギーを考える上では、「安全・安定供給」と「脱炭素」との同時達成の観点が特に重要ななると考えています。

資源に乏しいわが国にとって、エネルギーの安定供給を確保することは、国家の基盤にかかる重要な課題です。とりわけ、昨今、地政学リスクが高まるなか、エネルギー資源を安定的に確保する重要性は飛躍的に増しており、加えて、脱炭素への対応も待ったなしの状況です。これらの課題に同時に對処していくことは、将来世代に対する私たちの責務と言っても過言ではありません。

経済界としても、地球環境・エネルギー分野において、今後、どのような手立てを講じていけばよいか、英知を結集していく必要があると考えています。私も、長年エネルギー

事業に携わってきた事業者として、これまで培った経験を生かし、検討に貢献させていただく所存です。折しも、国において、エネルギー政策の羅針盤である、「エネルギー基本計画」の見直しに向けた議論が進められているところであります、関西経済界としての提言を取りまとめ、あらゆる機会を通じて、広く社会に発信していきたいと考えています。

2025年大阪・関西万博の開催もいよいよ来年に迫っています。このたび、万博推進担当の任にも当たることになり、この世紀のイベントを必ずや成功させていくとの決意を新たにしているところです。

振り返れば、1970年の大阪万博は、世界中の方々を輝かしい未来社会へといざない、大きな驚きと感動の渦を巻き起こしました。私も、当時の最先端技術を目撃したりに胸を躍らせたことを、まるで昨日のことのように覚えています。再び、多くの方々に、そして何よりも未来を担う子どもたちに、かつてのようなワクワクする体験をしてほしい、そんな願いを込めて、夢と希望に溢れる万博の魅力を、世界中に発信していきたいと思います。また、この地を訪れた機会に、関西各地にも足を延ばしていただくことで、関西経済のさらなる活性化につなげていきたいと考えています。

私自身、生まれ育った関西という地域に、大きな誇りと愛着を感じています。関西の風土や文化、何より「人」が大好きで、根っからの関西人と自認しています。

関西の皆さんに支えられ、ここまで育てていただいた企業グループとして恩返しをしたいと願うなか、このような大役を仰せつかったことは、この上ない光栄です。関西に根差した企業として、関西人の一人として、関西の発展に力を尽していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいいたします。(談)